



豊後大野市立緒方中学校学校だより

青雲の大志

令和6年2月27日

NO.32 文責 校長 内海真理子

【学校教育目標】 自他を尊重し、論理的な思考力と豊かな表現力で、粘り強く課題解決を図る生徒の育成

働く人から学ぼう 職業講話



農業やろうぜ！

鈴木さん

2月15日、1年生を対象に、職業講話を実施しました。職業講話は、身近にいる人の仕事の内容をお聞きし、その人の**職業に対する思いや考えを知ること**、お聞きした話を、**自分の将来の生き方を考えるヒントにすること**を目的にしています。今年度は、清川町で大規模な菊栽培をされている「有限会社お花屋さんぶんご清川」の鈴木教仁さん、豊後大野市市消防本部から後藤誠さん、竹田市で「花とカフェRAICHIKU（来竹）」を経営されている安倍美緒さんを講師にお迎えしました。なお、後藤さんと安倍さんは、本校卒業生です。生徒の感想を紹介します。

鈴木さんのお話で、一番驚いたのが、2億4千万円稼いでいるということです。一年間、ずっと働いて、すごいと思ったし、ビニールハウスのためにお金めっちゃかかっていて、怖いけど、売り方などを工夫したら高く売れるんだと知りました。コロナの時は売り上げが全然ないんじゃないかと思ったけど、逆に輸入が止まって、国産の需要が増えて良かったんだと知りました。**農業はチャンスがいっぱい**あって良いなと思いました。（1年 土屋遼河さん）

3人の方の講話を聞いて、たくさんを知りました。**ピンチをチャンスにする**ことはとても大事なんだなと思いました。

菊農家の鈴木さんの講話を聞いて、電照菊を栽培するのにライトやカーテンなど、3ヘクタールで6億円もかかるので驚きました。でも、お金をかけることで、1年中、菊を出荷できるようにしていることが分かりました。コロナが流行した時は、輸入が止まるので、あえて栽培し、たくさん菊を売ったのはすごいなと思いました。（1年 大津京也さん）



子どもの笑顔が見たい人を明るくしたい

安倍さん

安倍さんは、**自分の好きなこと**をして楽しそうだった。流しそうなめのギネスにチャレンジするのは、協力してくれたり手伝ってくれたりする人が大切だと思った。だから、**「挑戦する」と宣言するのは、勇気がいる**と思うけど挑戦していて、あきらめないことが大事だと知ることができた。（1年 穴見花笑さん）

消防士の後藤さんは、人を助けたり、訓練をたくさんするし、24時間勤務なので、きついと思うけど、毎日必死にやっているの、すごいと思いました。**人を助ける仕事は、カッコいい**と思います。

後藤さんが、中学校時代、落ち着きかないタイプだったことを知って、うれしかったです。

（1年 足田幸輝さん）



人のために仲間と協力して

後藤さん

消防士の後藤さんは、5kgの装備を着て訓練をしたりして、いつも鍛えているんだと知りました。非番でも呼び出しがあって出勤する日があり、大変な仕事だと思いました。人が亡くなる時ややっぱりあって辛いと思いますが、救急車の中で赤ちゃんが産まれたときもあったと聞いて、驚きました。**人の命を救えるのはいいな**と思いました。（1年 佐藤琥珀さん）

どの仕事にも大変なこともあるけれど、やりがいもあることを知りました。今日、来てくださった3人の方は、職業に就くうえで、いろいろな「きっかけ」がありました。僕も今はプログラマーが夢だけれど、何かきっかけで、夢が変わることもあるかもしれません。そのときも、その夢に向かって頑張りたいと思います。

最後の安倍さんのお話で、**過去は自分次第で変えられる**ということと、人との約束、時間を守ることがとても重要だということを教わったので、自分もちゃんとした行動がとれるようにしたいです。3人の方は、みんな今の仕事が好きだと言っていたので、僕も将来**「楽しい」と思えるような職業**に就きたいと思います。

（1年 田上和篤さん）